



2名の仲間が新しくメンバーに加わりました

社会福祉法人こぶしの会の理念

- 1.わたしたちは、障害のある人々が主人公という立場を大切にします。
- 2.わたしたちは、なかまひとり一人が豊かな人生を築いてゆける施設づくりに努めます。
- 3.わたしたちは、いつも明るい未来をめざして事業と運動に創造的にとりくみます。
- 4.わたしたちは、なかま、家族、職員、市民、行政の共同のもとに事業の民主的な運営をはかります。
- 5.わたしたちは、ここに生まれてよかったと誰もが思える地域づくりをすすめます。

2010年度を迎えて新たな挑戦を

社会福祉法人こぶしの会 理事長 藤 井 正 紀

こぶしの会も2010年度を迎え、新しい体制でのスタートを切りました。今年の新しさは、2名の仲間と2名の指導員を迎えたことと障害者雇用を試験的に行ったことで、その他仕事や班編成などは今までどおりです。しかし、内容的にはいろいろな変化やチャレンジを考えていますので、そのことを書いておこうと思います。

第1は、昨年を振り返り次年度を見越した実践課題を見つけ、十周年をめざした取り組みを行います。その内容は自立支援法訴訟やきょうされん運動の経験から、ものごとの目標を決めそれを持続的、組織的に取り組む＜運動＞をしっかりと行うことを考えています。

第2は、運動の内容ですが、「障害者の地域生活」と「障害者の望む人間らしい生活自立」の二つの生活確立運動を中心にします。自分のやりたいこと、毎日楽しく仕事や生活がしたい、給料を上げてほしい、仲間といろんな遊びをしたい、楽しい旅行や行事がしたい、親や兄弟や他人のことを考えたいなどなど仲間の夢は無限にあります。

第3は、これらの望みを実現するためには施設の課題は何でしょうか。

まず、障害者が自分を出し、自分の願いを一つ一つ可能にすることも必要でしょう。またそんなことを話し合ったりする場や人の意見を聞く場も必要でしょう。他人や社会に訴えることも必要でしょう。また社会の側も障害者の意見や訴えを聞く態度や姿勢も必要でしょう。またこのような運動を実行する組織や時にはそのための費用や資金も必要になるでしょう。こぶしの会としては次のような課題をあげその運動に取り組めます。ベターライフ（良い生活をめざす）運動とクオリ

ティ・ディスカバリー又はディスカバリー・アゲイン（価値の再発見）運動の二つがその内容です。

「良い生活運動」とは、仲間の生活を見直し、単に給料を上げたいのではなく給料をどのように使うか、何をしたいのか、また仕事だけではなく仲間との生活上での交流や経験の積み重ね、旅行や行事の企画や実行などなど仲間の生活を見直し、障害者自らがそれを向上させることを目指します。

「価値の再発見運動」とは、障害ゆえに、しゃべれない、意思疎通ができない、我慢ができない、パニックになる、同じことをくり返すなどなどすべての仲間はそういうマイナス面を持っています。しかしこれは仲間の人間の一部分でしかありません。我々が気づいていないか、見落としている素晴らしい面も多くあることが、数年間のこぶしの会の実践の中で明らかになっています。人としての素晴らしさを仲間の中で見つけ、それを評価し、励まし、援助するなど、それらを生かす仕事の開発などを試みてみようという運動です。

これらの二つの運動は、＜言うはやさしく、行うは難しい＞課題です。しかし、障害者施設の職員としての力の見せ所でもあります。あせらず、くじけず、中長期目標として地道に実践を行なうつもりです。また、このために今年度は、施設の近くに借家と世話人を確保し、ショートステイや日中一時支援を中心とした活動の拠点にします。また来年度のこっから開所10周年に向けてこの運動を推進したいと考えています。

障害をもつ人たちが自身が、変革の主体者になるということ

自立支援法奈良訴訟をたたかって

「ぼくは、国が本当に約束を守ってくれるかみとどけます。二度と障害者を苦しめないで下さい。」

3月29日、奈良地裁で最後の意見陳述をおこなった小山富士夫さんが、裁判官を見上げ、力強くしめくくりました。4回にわたった公判には本当にたくさんの障害者が傍聴にかけつけました。まるで自分の裁判のように。

「なぜ障害者だけが働くのに利用料を払わないといけないのか」という小山さんの訴えは県下の障害者事業所で働く多くの仲間を目覚めさせました。声を上げていいんだ、社会に働きかけて変えていけるんだ！訴訟キャラバンでつながり、運動への参加を通じて成長したたくさんの仲間の姿から「障害をもつ人が、権利の主体として、自らたちあがる」ことの深い意味を実感しました。

4月21日、首相官邸で訴訟団が鳩山首相と面談した際、小山さんは「無年金の精神障害の仲間を助けてください」とより困難を抱える仲間の声を伝えました。早速ひだまりの仲間たちが「実態を調査してください」と手紙を書き、5月の国会請願の時に山井政務官に渡しました。「当事者が動く」「自分たちが変えていく」そんな新しい運動の芽が着々と育っています。

「基本合意文書」は、障害者の基本的人権に根ざしたこれからの障害者福祉のあり方を照らす……完全実現をめざそう！

国と原告が交わした「基本合意文書」は国の公文書です。単なる時の政権の施策方針ではありません。また、和解調書＝司法上の合意として、この内容が確認された意味は大きい。司法立会いのもと、国が自らを拘束するものとして存在し、「障がい者制度改革推進会議」の審議のベースとなっています。

とりわけ、障害者福祉は時々政府の裁量ではなく「憲法に定められた基本的人権の行使が基本」としたことは歴史的にも大きな意義をもつものです。しかし運動なくして基本合意の実現はありません。

せん。裁判が終結した今こそ、この意義を深く学び、自分のものにして、本当に多くの人たちに届け知らせなければなりません。

切り開いたもうひとつの扉、障害者の司法アクセス

この訴訟では、障害のある人たちに開かれた裁判をどう保障するかも争点になりました。奈良でも当初拒否された手話通訳は粘り強い話し合いで配置を実現しました。閉ざされた空間が苦手な精神や自閉の仲間のために、部屋の入退出を自由にし、視力障害者のために裁判官自らが発言ごとに名前を名乗りました。国と交わした「基本合意文書」も知的障害の人たちにわかるように平易版をつくらせました。「障害への配慮」とはどういうことか、運動の中で常に明らかにしてきた経験は、新法策定過程での障害当事者参加にも生かされていきます。

逆風吹き荒れる終盤国会

自立支援法延命の策動、危険な地域主権一括法案が急浮上

和解終結後、自立支援法の延命を狙う自立支援法「改正」法案が自民・公民、そして民主の賛成によって成立しようとしています。新法までの「つながり」法案だとされていますが、障がい者制度改革推進会議の議論を一切踏まえ、内容も私たちが望む「改正」、緊急要望とは程遠く、時限立法でもありません。障害者問題を政争の具にする態度は重大です。5月26日早速こっから仲間自治会は、仲間たちの思いを綴った「抗議文」を厚生労働委員にファックスしました。

また、地域主権の名のもとに、国が負うべき福祉の責任を骨抜きにする「地域主権一括法案」も提出され、新たな制度作りに足かせをはめようとする動きが急浮上しています。

予断を許さぬ情勢ですが、「障害者の権利条約」を羅針盤に、訴訟運動で培ってきた「つながる」力を大きく発揮して、運動をさらに進めていきましょう。

小針 康子

★ 居宅支援のコーナー



ケアホーム ぐうぐうハウス ひまわり

お誕生日会をしました!

春はお誕生日ラッシュです。それぞれに、食べたいケーキをお店で注文しています。なかには、一ヶ月以上前から「どんなケーキにしようかなあ〜。」と考える人も・・・。



お誕生日おめでとう!



京都・清水 日帰り旅行



3月14日、ひまわり・ぐうぐうハウスで京都へ日帰り旅行へ行ってきました。近鉄電車に揺られて1時間で京都駅へ着きました。

午前中は、清水寺にお参りに行きました。お昼からは、グループに分かれて清水焼き体験と、舞妓体験をしました。どちらも初めての体験ばかりで充実した一日でした。



ふゅーちゃー

新年度をむかえ、新規スタッフも入り、若干の事務所模様替えも行ったふゅーちゃーです。そんなこんなで現在少しバタバタとしておりますが、今年度は新たな取り組みも行っていきたいと思っています。

古川さん

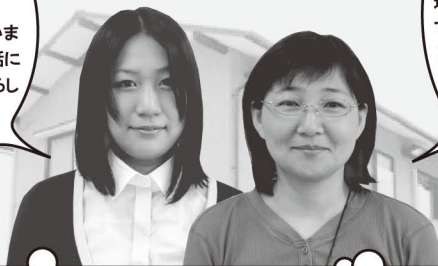
4月から主に事務関係のお仕事で来てもらっている古川さんです。ホームヘルプ資格もお持ちなので、シフトがピンチの場合にはお手伝いいただく予定です。

池谷さん

4月からショートや宿泊サービスでおもに入ってもらっている池谷さんです。ふゅーちゃーでは初の新卒スタッフです。入ってまだ2ヶ月ですが、なかまど元気よく過ごしてもらっています。

新しい職員の紹介

この4月からふゅーちゃーの職員となりました池谷早苗です。主に日中一時に入っていますが、こっからでもお世話になっています。どうぞよろしくをお願いします。



4月からふゅーちゃーの事務所で、主に事務仕事をさせてもらっています古川です。時々、送迎などで関わらせてもらっていますが、今後たくさんの方達と色々な形で接していくことになると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします😊

就労移行支援のコーナー

メンバー構成
仲間9名 職員5名
総数14名で日々活動しています。

「すたあと」から企業へ



養護学校卒業後、すたあと（就労移行支援事業所）に来られた Hさん。はずかしがり屋で、なかなか会話が弾みません。しかし、毎日封筒を袋に詰めるなどの軽作業中心に仕事の中で存在感を増していきました。ある日、仕出し弁当屋さんで実習を行うことになりました。最初はやっぱり「はずかしい」。でも、仲の良い仲間と一緒に元気よく仕事に打ち込みました。実習が終了した日には、会社の人から「よくがんばったね」と図書カードのプレゼントが…。

次は、病院の清掃の実習にも取り組みました。制服を着て入院患者さんの居室のごみ集めです。あいさつをして、居室に入りてきばきとごみを回収していきます。実習終了後は、入院患者さんから「あの子、もう、来ないのか?」と言われるほどの活躍ぶりでした。

そして、奈良で100年以上続く和菓子屋さん面接に行きました。工場に入ったとたん、「働きたいです!」とはっきり意志を強く言葉にされました。あの、はずかしがり屋さんが…! 和菓子屋さんから面接の次の日に「雇用しましょう」とお電話を頂きました。



「まずは、無理のない程度に週3日から、ゆっくりと仕事を覚えていって下さい。」

大きな「三笠焼き」を丁寧に運んだり、色々な仕事をしています。やりがいと手ごたえの感じられる仕事に充実感を覚えられるのも、「すたあと」の仲間の存在が大きいです。「Hさんが就職したからお祝いで、仲間だけで休みの日に遊びにいきましょう」とすたあとの仲間が発案しました。もうすぐ20歳の誕生日を迎える彼女の輝きは、私達の誇りであり、喜びです。



仲間自治会より

コミュニティワークこっから通信



仲間が「はたらく」「くらす」「あそぶ」などのテーマに学びあう「こっから講座」（仮）が開催されました。第1回目はこぶしの会の藤井正紀理事長が振り仮名つきの資料を用意し、参加者9人で「義務と権利」について話し合い

ました。「みんなは、何のために働くのか?」などの問いかけがあり、お給料の話や、生活の事など仲間から意見がありました。後日、振り返って感想を聞くと、以前きょうされん奈良支部総会で障害者権利条約について玉村先生から学んだ事を引き寄せて「他の国では、たくさん障害を持った人を雇用していると聞いたけど、日本でももっと増やすことはできないのかなあ」と考えたり、「お母さんとかが先に亡くなったりしたら、自分でちゃんとしていかなあかなあ」と仕事や生活の事を「自分のもの」として捉える意見が出されていました。

今後も、仲間から勉強したり話し合ったりしたいテーマを出し合って、講師も招く事も検討しながら「こっから講座」を新たな取り組みとして位置づけていきたいと思っています。

生活介護のコーナー

活動班

メンバー構成
仲間9名 職員5名
総数14名で日々活動しています。



若い声がこっからに響き渡る音楽療法です。



お楽しみ企画でお茶会をしました。
皆お茶ではなく、お茶受けを楽しみに
されています。



歓迎会を馬見丘陵公園で。
お弁当を持ってピクニックです。

月・木 午前は活動班全員で体力作り、散歩やアスレチックに挑戦しています。…とにかくやせないといけない人が多く、良く動いています。14名中10名程いています。(若干名職員も入っていますが…)

公園やダム、山の辺の道などこっから周辺の散策スポットをどんどん踏破しています。もし良い場所があれば是非お知らせください!

月・水・金 は2グループに分かれ、買い物や納品に行っています。またこっから喫茶店に出張して、パンの配達準備やパン・豆腐販売に出て行く仲間など、それぞれがそれぞれの役割を担っています。

午後は軽作業(ケータリング用、お箸・しゃもじのセット)を行う班とリサイクル活動(缶回収)を行う班、パンの販売配達班に別れ活動しています。その他、月1回教育大学の学生さんによる音楽療法も取り組んでいます。若い学生さんからたくさんの刺激をもらっています。

その他、歓送迎会や賞与・給与支給時の取り組みとしてお出かけ企画があります。これが全員楽しみのようです。おしゃれなカフェや広い公園でピクニックなど、準備段階から大盛り上がりです。

大切にしたいこと

活動内容は本当にゆったりゆったりとした時間の流れの中、1人1人が心地よい空間・居場所で過ごせるように…。

一人ひとり様々な思いを持って日々この集団で過ごしている。そのことに支援者が気づき「あー今日もここにきてよかった」「今日は〇〇を頑張った!!」「明日はあの人と過ごせるかな?」そんな明るい見通しを仲間が持てる取り組みをしたいと思い活動しています。

たくさんの言葉は活動班の中では飛び交いませんが、互いに励ましあい、ぶつかりあい、感動しあえる人間味豊かな集団作りを目指しています。

時に思いもつかない行動をすることもあります。それはその人の大切な願いの発信であり、その気持ちに寄り添いながら、一つ一つ解決できたらと思っています。

今活動班の仲間は「自立したい!!」と多様な方法で情報発信しています。20代後半から30代後半の方々数名です。

一人ひとりが自分のペースでその階段を登って行けるように、ぼちぼちでも確実に頑張っていきます。そして他の仲間のパイオニアになる為に。共に。

新しい職員の紹介

4月より活動班(主にリサイクルグループ)で活躍し、こっからの女性利用者のファン急増中の酒井俊学さんです。

4月から活動班にて働いている、酒井俊学です。
趣味、バイクに乗る事とテレビゲームです。特にバイクに乗って山や海などを見に行くのがとても好きです。
苦手な物は虫で近くに飛んでくるだけで固まってしまいます。(笑)
よろしく願いいたします。





こっからの食パンが優れた授産品として選ばれ全国20箇所の施設・作業所のひとつとして WEB上で掲載されています。『地域格差をぶっとばせ!ニッポンを明るくする障害者たち ころろがキュンとなる物産展』

こっからのパン記事の紹介



こっから商品が
買えるところ

<http://www.chiraku.com/jusan/jusan.html>

さくら倶楽部

大和郡山市柳2丁目6 TEL: 0743-54-0030
10:00~16:00(木曜日だけ~18:00)、
定休日: 日曜・祝日



柳町商店街のあるさくら倶楽部は、奈良県内の障がい者の雇用を増やす取り組みとして、カフェ&ベーカリーを中心に地元の野菜や障がい者の作業所で作られた物販を行なうお店です。

みそ漬け油揚げとおからかりんとうを販売しています。毎週金曜日のみ焼き立て食パンを販売しています。

Cocotte (ココット)

奈良市右京区1丁目2番地
サンタウンアカデミー文化教室隣 TEL: 0742-72-2207
10:30~16:00、定休日: 毎週水曜、日曜・祝日



障がいのある人たちの作った作品や商品を中心に、展示・販売するギャラリー・ショップです。

毎週火曜日限定のプチマーケットに12:00~15:00、手作り豆腐と焼き立てパンを出店しています。



これからの暑い夏にピッタリの豆腐丼☆
 豪快に混ぜて召し上がれ♪♪



●材 料●

- ・あたたかいで飯.....お茶碗 1 杯
- ・こっから豆腐 絹とうふ.....半丁くらい
- ・かつお節.....お好みで
- ・醤油.....お好みで
- ・ごま油.....小さじ 1 杯

●作り方●

- 1 熱々のご飯を盛り付け、2cm 角に切った豆腐を乗せる。
- 2 ごま油、お好みでしょう油、万能ネギをのせれば完成。



おすすめ
 大門しょうゆ

レシピ
 募集

こっから豆腐、こっからの食パンを使ったレシピを教えてください。
 採用させて頂いた方には、素敵なプレゼントさせていただきます。

